

前回の報告書を書き上げてから、はや一ヶ月が経ちました。毎日が宿題とテストに終われる日々が続いているような気がします。こちらの気候はすでに秋から冬のような気候になっており、道端にも落ち葉が山積みになっています。

最近の友達同士の会話では、大統領選挙が近いため、それらについて話すことが多くなってきました。実際にテレビでも選挙活動のCMや討論番組が多く目立つようになってきました。友達に投票に行くかどうか尋ねたところ、大部分の友達に投票に行くかと答えており、今回の選挙が注目されていることがわかります。また、大都市はテロ活動を警戒して、かなり物々しい雰囲気になっていました。

それでは、以下にそれぞれの講義の現時点までの内容について説明します。

ESL113

相変わらず、毎週文章を書く練習が続いています。最近は複数のトピックを出題されて、そのトピック同士をリンクさせて一定時間内に文章を作るといったような練習が行われています。この授業の内容は良いと思うのですが、指導教員は大学院生であり、指導教員自体やる気が無いのか、授業に来ない、または授業時間終了と同時に、すぐに終わるなど物足りないような感じも受けます。

せっかく、授業を受けているのだから、もう少し身のある授業をして欲しいと思います。

ESL510

この授業を履修してから、自分の発音で気を付けるべきところが理解してきたため、話すときにも気をつけようと努力しています。その成果が現れてきたのか、この間アメリカ人の友人に私の発音が以前に比べて良くなってきたと言われたときは嬉しかったです。現在は長い文章における話し方を学んでいます。どの言葉を協調して話すか、どのようにして短縮して話すかなどを、現在習っております。

KOL201

現在は会話形式・文章朗読を中心として、単語および文法を習っています。この授業は毎日あるため、進度が一番速く、授業内容に付いて行くのが精一杯です。しかし、IEIで出来た韓国人の友達が時々手伝ってくれるので、彼らには非常に感謝しています。現時点では、簡単な会話・自己紹介などはネイティブの韓国人と会話することができます。また、ハングル語自体はすでに読むことが出来るようになりました。しかし、writingの方は形状が似たものが多いので、かなり苦戦しています。

EALC250

現在は、明治時代から現在に至るまでの日本文化を習っています。この授業はそれぞれの文化を教えられた後に、その内容についてのエッセイを1000文字程度で書き上げ、提出しなければならないのですが、概要・自分の意見・考察を書かなければならず、このエッセイにかなりの時間を費やされ苦労しています。

授業自体は非常に面白いものであり、アメリカ人達が日本をどのような感じで受け止めているのかが解ります。しかし、時々我々でも理解できないようなことを説明されたり、とある地方の文化を日本共通の文化として『これが日本ですよ』と紹介されているのを見て、『それは間違っている！』と大声で叫びたいような衝動が起こるときもありました。また、日本人ということで、中間テスト前になると、授業を受けている他の国の人たちに、質問を受けることも多々ありました。

ボストンキャリアフォーラム

今月 22～24 日にマサチューセッツ州ボストンにおいて、日本人を対象としたキャリアフォーラムが開催されており、それに参加してきました。今回でボストンキャリアフォーラムは 18 回目を迎えており、日本資系の会社が約 100 社、外資系が 30 社ほど参加していました。学生はアメリカの大学に通っている学生が大部分であり、日本からも来ている学生も何人か見受けられました。

雰囲気としては、合同会社説明会のような雰囲気かと思っておりましたが、会社によっては、この 3 日間で内定を出すくらいまで進むそうです。従って、ある意味では、合同会社面接会みたいなものでした。私はイリノイ大学の full time の学生 2 人と行ったのですが、そのうち一人は内定、もう一人はインターンシップの内定をもらっていました。今回のキャリアフォーラムは 2005 年度卒業の方を対象にしたものであったので、2006 年度卒業の私は、企業の情報集めと練習を兼ねた面接を行ってきました。以下に私が感じた点を挙げたいと思います。

1. 今回は英語版履歴書の二つが必要であったので、友人の物を参考に作成しました。英語での履歴書は日本語版に比べて作りが簡単です。記載内容は、現在の住所および日本国内での住所、現時点での大学と大学院名、過去の大学名（他大学より編入した人のみ）、習得資格、技術など、大学での活動内容、過去の経験（就職・大学・クラブ活動による受賞など）現時点までの GPA（金沢工業大学では QPA）です。
2. 外資系企業の場合ですが、面接は基本的に英語。大体 4 次面接くらいまで設けている所が多いようです。しかも、1 次のグループ面接では、ひとつのテーブルを囲んで面接のような雰囲気を感じさせず、カフェで世間話をするかのような感じで行われていました。こちらは面接重視の傾向が強く、学力などはすべて GPA で判断するようです。さらに、面接後、外資系企業は夕食に誘うことが多いようで、この夕食時の会話でも色々と判断されるそうです。
3. 日系企業もこちらでは主に面接のみで行って行っていました。簡単なテストを設けている企業もありました。日本の企業であっても面接では英語で聞いてくるところが多かったです。こちらでの採用は日本に比べて採用率が高らしく、企業側も積極的に採用しようとしておりました。
4. 日本では学校の名前で判断する企業が多少は見受けられますが、こちらでは、学校名は一切聞かれることはありませんでした。（只、私の場合は特殊なので、日本の学校名は聞かれました）要は、大学で何を学んだが重要視されており、1 次面接であっても、学んだ内容についてかなり深く質問されました。
5. 会場内を歩いていると、やたらと中国人・台湾人・韓国人を見かけました。彼らも日本企業に就職しようと思って来ていると思うのですが、英語・日本語・中国語または韓国語を喋れる彼らは他の日本人に比べて、企業側も採用したいのではないかと思います。従って、英語以外にもう一カ国語学んでおく必要性が感じられました。
6. 外資・日系両企業に共通したことですが、インターンシップの経験を尋ねてくるところが多かったです。基本的にアメリカの学生たちはインターンシップを経験しており、企業側もそれをかなり重要視しています。従って、日本の学生たちもインターンシップを一度経験すべきだと思いました。（私の場合は、時すでに遅しですが...）

以上のような点が感じ取れました。アメリカでのフォーラムは金融・経済系の企業が多く、また、理系分野を学びに来る日本人学生は少ないため、理系分野の学生は重要視されるそうです。もし、大企業での就職を考える人ならば、日本に比べて採用されやすいので、アメリカでの就職活動のみで入社できるかもしれません。その他に聞きたいことがあれば、国際交流質を通して連絡を下さい。

キャリアフォーラム内での写真です。このような雰囲気で行われていました。（手ブレで画質が乱れてしまいました）



今月を振り返ってみて

今月は授業にも慣れ、色々と余裕が出てきましたが、宿題とテストの準備に追われる毎日が続いていました。英語のほうの実力は、上がったと思われる部分がある反面、ぜんぜん変わってないと思われることもあります。この学期は英語能力の向上に努めると前回の報告書に記述しましたが、その成果はまだまだ先のこととなりそうです。先日ハロウィーンパーティーが学内中で行われ、多くの学生はこの日のために仮装の準備をしていました。いかにもアメリカらしい一日であり、見ているこちら側も楽しませてくれました。しかし、このように騒いだ後でも、次の日には、大学内で、宿題や課題など、やることをしっかりやっているところがアメリカらしいとも思いました。とりあえず、自分もこの報告書を書き終わった後には明日のテストに向けて準備を行いたいと思います。